

全国各地で「ふくしまの今」を直接伝える取組 チャレンジふくしまフォーラムの開催

1 目的

全国各地において、ビジネスパーソンを対象に、知事・副知事が「ふくしまの今」を直接伝えるシンポジウムや交流会を内容としたフォーラムを開催し、新聞等を活用してその様子を発信するもの。

2 開催状況

金沢市 (10月12日)



参加者200名

食の魅力と安全性確保に向けた取組など本県的情報を総合的に発信。

【概要】

- ・復興の現状や取組、食・観光の魅力などを発信するブース展示
- ・道場六三郎氏監修による福島県食材を使用した料理の試食
- ・「福島と北陸の食の魅力」トークセッション
⇒道場六三郎氏(料理人)、西芳照氏(アパレル)、唐橋ユミ氏(ライター)

など

大阪市 (11月7日)



参加者183名

本県の新産業振興の取組発信、製造業の大企業グループをはじめとした関西地区に本拠を置く企業等との交流、誘致の促進。

【概要】

- ・基調講演「水素社会の実現に向けたイワタニの取組」(岩谷産業(株))
- ・福島県内企業からのPRコーナー
- ・「ふくしまでのチャレンジ～福島に進出した企業から」トークセッション
⇒佐藤勝之氏((株)サード)、三寺歩氏(ミツジ(株))、大倉智氏((株)いわきスポーツクラブ)

など

東京都 (1月30日)



参加者192名

ホープツーリズムの推進に向け、本県に興味を持つ学校とのつながり拡大、県内への教育旅行や企業の社員研修等による来県者増加を図る。

【概要】

- ・基調講演「ふくしまホープ・トーク」(尾木直樹氏)
- ・スタディツアーで実際に福島県を訪問した学校及び企業によるトークセッション
⇒お茶の水女子大附属高校、筑波大附属駒場中学校、(株)みずほフィナンシャルグループ、銀行、三井不動産(株)

など

広島市 (2月7日)



参加者170名

復興や地方創生等に関するチャレンジなど、本県の情報発信を総合的に発信。

【概要】

- ・復興の現状や取組、食・観光などを発信するブース展示
- ・広島と福島交流事例の紹介
- ・両県知事対談「2つの“しま”のチャレンジ」
- ・「福島×広島 酒処ふくしまの“イノベーション”」トークセッション
⇒田崎真也氏(ワインメイ、ふくしまの酒(イタ)、鈴木賢二氏(福島県ハイテクラボ、若松技術支援センター、醸造・食品科長)、後藤奈美氏(独)酒類総合研究所理事長)

など

※この他、名古屋市(10月19日)においても実施

3 今後の取組

平成30年度においても、首都圏を始め全国各地でフォーラムを開催予定。

引き続き、本県の現状や食と観光の魅力、新産業の振興など、震災から8年目を迎える「ふくしまの今」を発信していく。